
貴方は私を苦しめる

月子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

貴方は私を苦しめる

【Nコード】

N4790P

【作者名】

月子

【あらすじ】

貴方がほしくてたまらない。あの子じゃなくて私をみて。

細く長い彼の指がプルタブを引き、そのまま握りしめてとまる。

「たしかに僕は彼女が好きだし、彼女も僕が好きだといっている。でもそれって上辺だけのものである可

能性も捨てきれないわけだし、本当のことかもしれない。好きっていう感情は一時の思い込みみたいなもので、ある日突然彼女が別の人を好きになって消えていくかもしれない」

俯いたまま、何かを確かめるように彼は缶をなぞる。細く長い指が何度も、何度も。

「ごめん、変な話をしたね」

そういうと彼は勢いよく立ち上がり、家まで送るよ、といって歩きだした。

例えば貴方が困ったときにする癖。

眼鏡を押し上げて、困ったように微笑んで、必ず視線をそらすの。

見つめて、見つめて、見つめて。

貴方の本当の気持ちを探ろうとして必死に表情を読み取ろうとして。

少しだけ期待した自分が馬鹿らしく思えて、恥ずかしくて。

それさえも気づかないでいるフリをしてくれる貴方の優しさが痛くて。

ねえ、知ってる？

私は貴方の彼女に嫉妬してる。

触れようとすれば貴方の細く長いその指に自分の指を絡めることができる彼女を。

貴方の優しさに溺れることが許されてる彼女に。

私は、嫉妬してるの。

彼の半歩後ろを歩くようにして歩きなれた帰り道を歩く。

いままでと違って**いるのは**

どうしようもないほどに貴方をほしいと望んでいる私の心。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4790p/>

貴方は私を苦しめる

2010年12月13日21時40分発行